

高等学校農業科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	・養分の保持力（保肥力）を高める。 ・土壌有機物を徐々に分解し、養分として作物に供給する。 ・土の団粒化を促進し、作物の生育に適した土にする。 ・土の pH の急激な変化をやわらげる。 ・多様な小動物や微生物が活発に生育し、害虫や病原体となる有害な生物の増加を抑制する。	3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	各 4 × 3	35
	2	化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	6	
	3	農業系高校で学ぶ生徒が高等学校在学中に取り組んだ学校農業クラブ活動や、農業に関する学習とつながりの強い検定・資格、教養を高める上でも有効な検定・資格を区分表から得点に換算し、その合計得点により、アグリマイスター「シルバー」、「ゴールド」、「プラチナ」に認定する制度。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	6	
	4	学校農業クラブ活動の目標、内容、組織などについて各種活動を通して実践的に扱うとともに、プロジェクト学習の成果を発表する機会を設けること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	8	
	5	(イ)		3	
2	1	更新せん定		2	15
	2	・病害の軽減 ・農薬散布による果実汚染の回避 ・害虫防除 ・裂果防止 ・鳥害防止 ・日焼け防止 ・外観品質の向上	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	各 2 × 2	
	3	① (ウ) ② (ア) ③ (イ)	全部合っているものだけを正答とする。	3	
	4	主因 病原体が存在すること。 誘因 病原体の増殖などに好適な環境条件があること。 素因 病原体に侵されやすい性質をもつこと。	全部合っているものだけを正答とする。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	6	
3	1	給餌器に飼料が常にあり、ニワトリが自由に食べることができるようにした給餌方法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	3	10
	2	デンマーク式豚舎		3	
	3	・血統登録 ・牛群検定 ・体型審査	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	各 2 × 2	

高等学校農業科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意		配 点		
4	1	ミニマム・アクセス米				4	10	
	2	建物や農機具などの固定資産は、使用したり、時間が経過したりすることによって、価値が減少する。そこで、決算に当たり、当期中における価値の減少額（減価）を計算し、これを費用として計上するとともに、固定資産の勘定残高から差し引く手続きのこと。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているいてもよい。		6		
5	1	植物の細胞や組織が、その種の全ての組織や器官を分化して完全な個体を形成する性質のこと。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているいてもよい。		6	10	
	2	染色体を倍加するため。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているいてもよい。		4		
6	1	・髪は帽子の中におさめる。 ・清潔な帽子を正しく着用する。 ・マスクを付ける。 ・装飾品は身に付けない。 ・作業服の下はTシャツなど、ボタンのない服を着用する。 ・清潔な作業服を着用する。 ・作業服は、ボタン・ポケットのないものを着用する。 ・袖はゴムなどでしぼりがあるものを着用する。 ・爪を短く切る。 ・ズボンのすそは、靴の中へおさめる。 ・清潔な履きものを着用する。		5つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているいてもよい。		各2×5	30	
	2	・つけない（汚染防止、洗浄） ・増やさない（増殖防止・冷蔵保存） ・やっつける（殺菌・加熱）		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているいてもよい。		各2×3		
	3	0.01 ppm				4		
	4	求め方 $(1.9 - 1) \div 1 \times 100$		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているいてもよい。		各5×2		
		答 90 %						
7	1	・大きさ ・方向 ・作用点		順序は問わない。 全部合っているものだけを正答とする。		5	26	
	2	(1)	単純ばり			各3×3		
		(2)	連続ばり					
		(3)	固定ばり					
	3	求め方	地山土量	V $0.8 = 500/V$ $0.8V = 500$ $V = 500/0.8$	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているいてもよい。			各3×4
			ほぐした土量	$V_1 = 625 \times 1.4$				
		答	地山土量	625 m ³				
ほぐした土量			875 m ³					

高等学校農業科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点
8	果樹園において、地域の特産品である果実を生産するだけでなく、生産した果実の規格外品や通常廃棄される果皮等を用いて、特産品のブランドイメージを付加した新たなスイーツを開発・製造し、果樹園内の直売所での販売やインターネット販売をする等、一次産業としての農林漁業と、二次産業としての製造業、三次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組のこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
9	「生産」の分野において、特別栽培農産物の生産について、プロジェクト学習を行う。プロジェクト学習の課題として、農薬散布の省力化及び化学肥料について地域の慣行レベルよりも削減した栽培を目指すことを設定する。 その際、農薬の使用回数のデータ収集のために、地域の先進農業経営者と連携を図り、農業用ドローンによる農薬の空中散布や化学肥料の量による作物の生育状態の差をデータとして蓄積して、そのデータを分析し、状況に応じた適切な農薬散布量及び化学肥料の施肥量を導き出す。 その結果を地域の農業経営者に共有し、農薬散布の省力化及び化学肥料の慣行レベルを削減した栽培を推進することによって持続的な農産物生産に取り組む。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。資料の内容を踏まえていること。 地域や社会の健全で持続的な発展の視点があること。 実践的・体験的な学習活動であること。	14

高等学校農業科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕				採 点 上 の 注 意	配 点
10	過程	学習活動	指導上の留意点 (◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっている。 【思考・判断・表現】 ■作品法（レポート）	40
	導入	○これまでのトマトの栽培プロジェクトを振り返り、第1学期の内容について再確認する。 ○本時の目標を確認する。	○生徒自身がトマトの栽培管理や生育調査をどのように行ってきたか、振り返らせる。			
	展開	○生育調査の記録をまとめる。 生育調査で用いた調査・観察カードを活用し、トマトの生育調査から得られた草丈の長さ、主茎の葉数等のデータをグラフ化する。 ○作成したグラフから、環境の要素や栽培管理が、トマトの草丈の長さや主茎の葉数等に与えた影響について分析する。 ○分析した結果を考察し、根拠となるデータ等をまとめる。 【グループ学習】 ○4名で1グループを作り、分析した結果をグループの中で共有、協議し、環境の要素の変化や栽培管理がトマトの草丈の長さや主茎の葉数等に与えた影響について再度分析する。 ○トマトの生育に関する研究成果等を調べ、分析結果や根拠データと比較し、気づきをレポートにまとめる。 ○環境の要素の変化や栽培管理がトマトの生育に与える影響について、グループで発表資料を作成する。 ○グループごとに発表し、他のグループの発表から気付いたことをレポートにまとめる。	○ICTを活用し、調査結果の特徴が視覚的に分かりやすいグラフになるよう工夫させる。 ○グラフ作成の際、適切なグラフの種類を選択させる。 ◆トマトの生育に大きな変化が見られたときに、気温等の環境の要素や施肥量等の栽培管理がどのように変化しているか、作成したグラフに注目させる。 ○「気温が△℃上昇したとき、草丈が▲cm伸びた」等、環境の要素の変化とトマトの生育調査の記録との関係性を、科学的な視点で分析し、適切な栽培管理について考察させる。 ◆自らの分析結果と他者の分析結果を比較し、トマトの生育に影響する環境の要素と栽培管理について一般化させる。 ○分析結果と先行研究を比較し、分析結果の妥当性について考察させる。 ○ICTを活用し、グループで一般化したトマトの生育に与える影響について、分かりやすい発表資料になるよう工夫させる。 ○自らのグループの分析結果との違いに注目させる。			
	まとめ	○トマトの栽培管理が適切であったか、自己評価を行う。 ○振り返り 本時の学習内容を振り返る。	○トマトの収量や品質を向上させるにはどのような生育管理が適切か考察させる。 ○本時の目標の達成状況を確認する。			